

令和7年度 栃木市立栃木中央小学校経営計画

1 学校経営の基本的な考え方

- (1) 日本国憲法、教育関係法令等の趣旨を踏まえ、本校の教育課題の解決を図り、全ての児童に「生きる力」を育むことを目的として学校経営を行う。
- (2) 地域の歴史や文化、地域や保護者の願いを受け止め、学校・地域・家庭が一体となって児童を育む「地域とともにある学校（小中一貫コミュニティ・スクール）」を推進する。
- (3) 栃木西中ブロックでの小中9年間で目指す子ども像の実現に向け、小学校段階で育成を目指す資質・能力を確かに育むために、特色ある教育課程を編成し、本校ならではの教育活動を開展する。
- (4) 児童の実態を的確に捉え、全教職員によりカリキュラム・マネジメントを推進することを通して、学校経営への協働的・組織的な参画と教育活動の質的向上を図る。
- (5) 学校経営計画を3か年計画として設定し、適宜に成果と課題を適切に評価することで、重点化や改善を図る。

2 本校の教育目標と目指す子ども像

本市名誉市民であり本校出身の山本有三先生の精神である「生命尊重、人権尊重、絆」を基盤に置き、「たった一人しかない自分のよさをのびのびと發揮し、たった一度しかない一生を自らの意志でいきいきと切り拓く力（生きる力）」を身に付けた児童の育成に努める。

＜教育目標＞ **かしこく やさしく たくましく 地域とともに**

たった一人しかない自分を たった一度しかない一生を
ほんとうに生かさなかったら 人間生まれてきたかいがないじゃないか
山本有三「路傍の石」より

本校の教育目標の達成に向け、児童の実態を踏まえ、令和7年度からの3年間で育成を目指す子ども像を設定し、その育成に努める。

教育目標	児童の実態	目指す子ども像
かしこく	<ul style="list-style-type: none">・学習に意欲的に取り組み、真面目に努力している。対話を通じて、考えを深めようとしている。・学力の定着や学習意欲に個人差が見られる。	主体的に学び、自分の考えを表現し合って課題解決を目指す子ども
やさしく	<ul style="list-style-type: none">・偏見や差別なく友達を思いやり、互いを尊重し協力しようとする態度が見られる。・様々な要因から学級での人間関係の形成に困難さを抱える児童が見られる。	相手の立場や気持ちを考え互いを大切にして協力し合う子ども
たくましく	<ul style="list-style-type: none">・元気に運動し、健康や体力の向上に意欲的に取り組む児童が多い。・自分なりの目標をもって、粘り強く取り組もうとする自己指導能力に課題が見られる。	自他の生命・安全を大切にし粘り強くものごとに取り組む子ども
地域とともに	<ul style="list-style-type: none">・地域に関心をもち、関わりのある様々なボランティア等に感謝することができる。・自分からあいさつすることの個人差が大きく、周囲に流される傾向が見られる。	地域に誇りをもち、地域に感謝する子ども

3 目指す学校像と目指す教職員像

目指す児童像の育成においては、山本有三先生の「生命尊重、人権尊重、絆」の精神を基盤とした教育を日々実践しながら、児童、教職員、保護者、地域住民等が「学びあい、ふれあい、支えあい」ながら共に未来への思いを紡いでいく学校を目指していく。

<目指す学校像> 「学びあい　ふれあい　支えあい」子どもも大人も夢を育む学校
山本有三先生の教えを日々実践する学校

教育活動を全教職員で協働的に実施するためには、教職員が、経験や個性の違いを互いに生かし合い、資質・能力の向上に努める教職員を目指していく。

<目指す教職員像>



4 本年度の学校経営基本方針と5つの重点

学校経営方針	重点
知・徳・体にわたる「生きる力」の育成を目指した特色ある教育課程を編成し、本校ならではの教育活動を創意工夫して実践する。	本校ならではの 教育の充実
主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善と個性を生かし合う学級経営（学業指導）の充実に努める。	「学ぶ力」を育む 教育の充実
望ましい集団活動を通して、互いを尊重し合う豊かな人間関係を築くとともに、一人一人の児童理解に基づいた自己指導能力の育成を図る。	「豊かな心」を育む 教育の充実
楽しく活力のある学校づくりに努め、自他の生命を大切にする心の育成、健康・安全に対する意識の高揚を図る。	心身の健やかな成長 を促す教育の充実
学校運営協議会、とちぎ未来アシストネット、PTAを核とした家庭・地域との連携・協働と小中一貫教育等を推進し、地域とともににある学校づくりに努める。	地域とともにある 学校の推進